

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和元年度第1回弥生地域振興審議会

2 開催日時

令和元年7月18日（木） 19時00分から21時15分まで

3 開催場所

弥生振興局 2階 第2会議室（佐伯市弥生大字上小倉656番地1）

4 出席者

（委員）：市原雄次郎・伊藤美由紀・植木優子・荻英利子・甲斐隆二・河野正通・
河野由夏・染矢庄治・宮島尚貴・矢部加奈

（委員10名中10名出席）

（市職員）

弥生振興局長 : 五十川一弥

弥生振興局地域振興課地域振興係 : 岩井敏彦（総括主幹）

河野誠（副主幹）

藤原千恵（地域おこし協力隊）

一瀬雄二郎（地域支援員）

政策企画課政策企画係 : 安藤正充（総括主幹）

清田甲生（副主幹）

地域振興課地域振興・公共交通係 : 戸高博彦（総括主幹）

地域振興・公共交通係 古田朋志（事務員）

（計9名）

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

- (1) 第2次佐伯市総合計画の平成30年度の取組に係る検証結果について（諮問）
事務局から施策評価調書により説明し、質疑応答及び具体的な意見を求めた。
主な発言内容は以下のとおり。

政策名：7 地域が輝くまちの創生

施策名：3 人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生 ～弥生地域～

【1-2 主な取組の実施状況】

全体について

- 全体的な方向性としては良いのではないか。
- 地域ブランドの開発や世代や分野ごとの人材及びリーダー育成に向けた取組は、一朝一夕に結果が出るものではないので長いスパンで見て、求める結果は5年、10年先を見据えて取り組む事が大事だと思う。

アー（ア）観光資源の見直しと情報発信による観光振興促進

- 道の駅の来場者数を増やすにはリピーターを増やしていかないといけない。
SNS等を活用した情報発信も大事だと思う。
- 道の駅やよいは、民間の指定管理になり経営が改善された半面、行政側が入りにくくなった面がある。その辺は行政と民間会社が上手く協力してやって欲しい。

アー（イ）「やよいふるさとパーク」の整備活用

- 道の駅を拠点としてやるのであれば、もう少し道の駅周辺の整備をしっかりとやるべきだと思う。
- 安全に川遊びが出来るようにしてほしい。
- やよいふるさとパークの清掃活動については、限られた団体と地域の人達しか参加していないので、もっと地域全体に波及させて欲しい。

イー（イ）住民の交流の場となる複合拠点の整備

- 既に取り壊しが決定している弥生中央公民館の跡地利用については、弥生振興局の建て替え、水害時の避難場所及び備蓄倉庫、地域リーダー育成の拠点等の機能を備えた複合施設の整備として、将来的な構想を持っていただきたい。

イー（ウ）コミュニティが連携した地域美化活動促進

○弥生地域の自治会が中心となり、市町村合併前から継続して実施している8月実施のクリーンアップ作戦については、コミュニティが連携した地域美化活動として成果に取り上げて良いのではないかと。

ウー（イ）地域防災力向上への活動支援

○子どもが参加するという事が次世代にずっと繋がっていくので、佐伯市の一斉避難訓練の参加については学校等を通じてPTAや児童に啓発して欲しい。

【2-1 指標目標】

○「道の駅やよい」の来場数については、レジの通過者数を根拠としているが、イベントをやってもレジを通らないと来場者数の増加に繋がらないのでカウンターの仕方も研究して欲しい。

(2) 佐伯創生推進総合対策事業について

事務局より平成30年度の実績と令和元年度の進捗状況について説明をし、質疑応答を行った。

8 会議の資料名一覧

1. 第2次佐伯市総合計画の進捗管理について
2. 政策評価調書
3. 令和元年度 第1回弥生地域振興審議会資料（資料1）
4. // (資料2)

9 問い合わせ先

担当課 佐伯市弥生振興局 地域振興課
地域振興係（担当：河野）
電話番号 (0972) 46-1111（内線 33）